

令和5年度

事務事業評価表(令和4年度の実績評価)

記入年月日
令和5年4月1日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '通学バス運行委託事業' and 'O201 学校教育の充実'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要, ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Contains text about bus routes and school safety.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (e.g., 通学バス運行委託, 通学支援対象者) with data for 03-07 years.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing financial input (事業費) and personnel (投入量) with columns for 03-07 years and 期間限定総投入量.

Table comparing 04年度事業費実績 (千円) and 05年度事業費予算 (千円) with sub-items like 委託料 and 使用料.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for implementation content for 05, 06, and 07 years, detailing bus operations and safety measures.

事務事業名	通学バス運行委託事業	事務事業No.	20103000142	所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
旧岩瀬町で昭和60年度の長方、下泉、大泉、富谷、門毛、小塩分校の廃止により、旧分校学区の1から3年生までを対象に通学時の安全の確保と利便性の向上のために通学バスでの送迎運行を始めた。 旧真壁町では昭和53年酒寄分校廃止により、分校に通っていた1、2年生が筑波鉄道利用となったため、通学費の補助が開始された。その後鉄道が廃止されバス路線になったが補助事業は継続された。合併後対象が3年生まで引き上げられた。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
分校廃止に伴い行っている事業であるが、通学バス対象区域以上に遠距離から通学している他区がある。他の地区についても見直す必要がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 遠距離の区域から小学校へ通学する低学年児童の安全を確保することは、教育環境の整備に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 小学校低学年児童の登下校時の安全対策として実施することは、市が行うべきである。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 限られた時間内での安全確保が最優先である。児童数の減少による運行ルートや利用する児童数に応じて適切なバスの車種を選定などの検討が必要。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 少子化による通学班が減少する中で、事業を廃止した場合は、児童の安全確保が難しい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 今後当該地区での公共交通網が整備されれば、事業費の削減は期待できる。一方で、小中学校適正配置が進むことで遠距離通学者が増加するため事業費は増える。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 遠距離から長時間の徒歩で通学するには安全上の危険性が増すことから、通学支援は妥当である。一方で他の小学校区でも遠距離通学児童も見受けられ、小中学校適正配置計画を進める上で検討が必要である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・小学校分校廃止に伴い行われている事業であり対象地区から通学する児童の安全確保に必要である。 他の地区でも遠距離通学児童が見受けられ、通学バス利用の要望もある。今後、利用者や学校・PTA等の意見、地域の交通事情等を調査、検討する必要がある。 令和3年度より羽黒小学校区(旧猿田小学校区対象)での運行を開始した。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持	×	×	×	低下	×	×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上			○																						
	維持	×	×	×																						
	低下	×	×	×																						
現状、分校廃止に伴う通学支援が行われているが、通学支援対象地区よりも長い距離を歩いている児童がいる状況である。 現在の利用者・学校・PTA等、各方面からの意見を検討する必要があるが、将来的には学校からの直線距離によって通学支援の可否を決める方向に変えていければ学校や地区の間の公平性が保たれると考える。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑤																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認